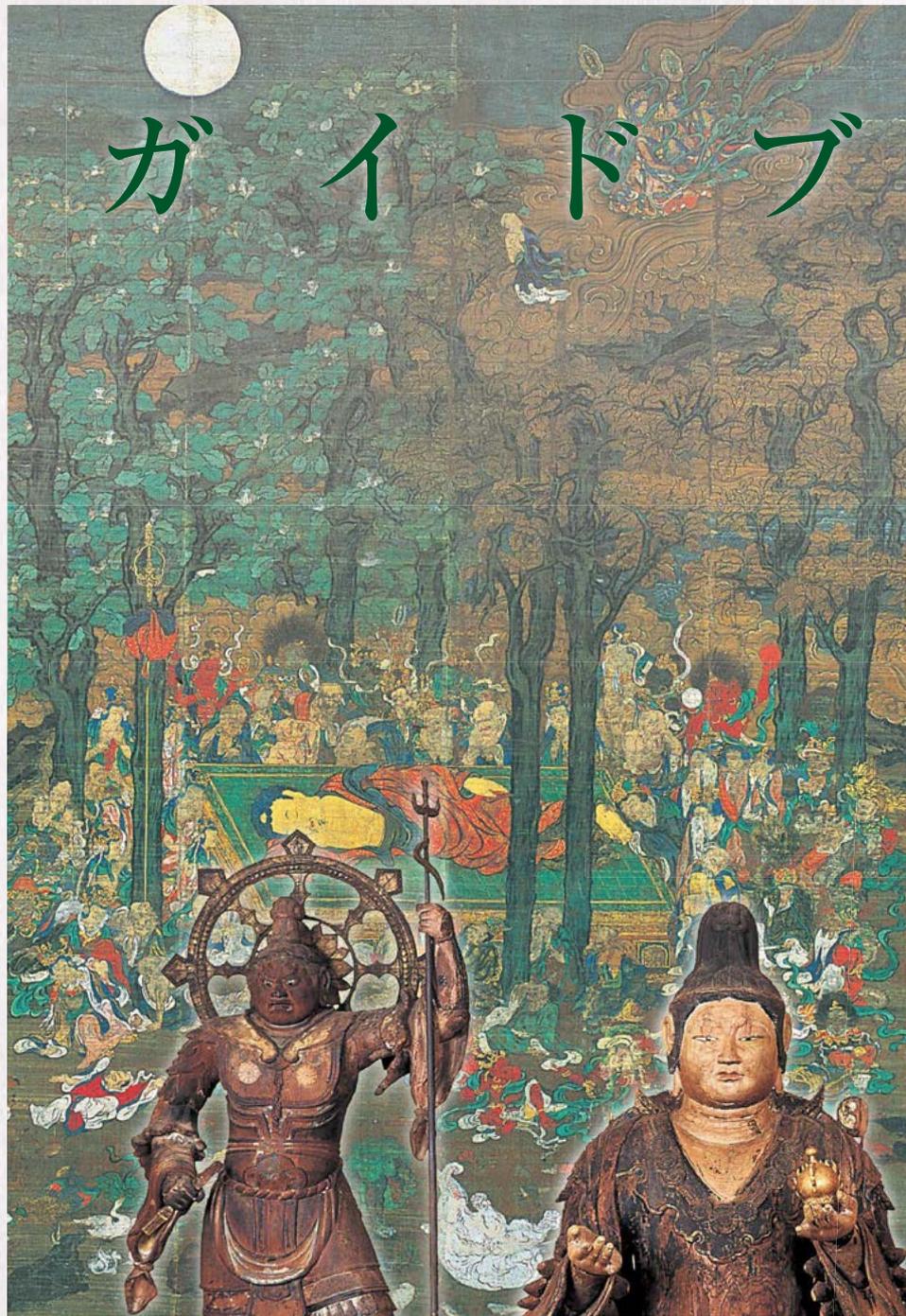


笛吹市文化財

ガイドブック



建造物

※文化財の説明は、番号、名称、指定区分、所有者等(所在地)、時代の順に記載してあります。

1 浅間神社摂社山宮神社本殿 附 棟札4枚

国指定 所有：浅間神社(一宮町一ノ宮) 室町時代

山宮神社は甲斐国の一之宮、浅間神社の摂社で大山祇命と瓊瓊杵命を祭神とする。毎年3月に浅間神社の祭神である木花開耶姫命が神幸する山宮神幸祭りが行われる。本殿は梁間正面一間、背面二間(2.64m)、桁行二間(1.55m)の隅木入春日造。屋根は檜皮葺き。側面の鬘股は兜の彫刻で飾られている。棟札によると、永禄元年(1558)11月に武田晴信(信玄)が大檀那、川田彦左衛門尉が大工となって造営された。



2 山梨岡神社本殿 附 棟札2枚

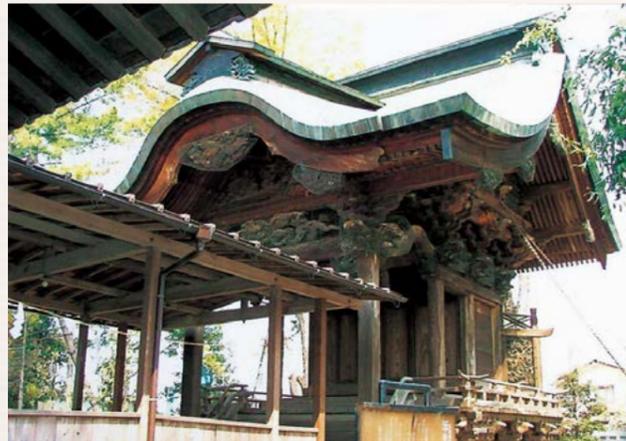
国指定 所有：山梨岡神社(春日居町鎮目) 室町時代

山梨岡神社は御室山の南山麓「山梨岡」に位置し、この地は山梨郡さらには山梨県の地名発祥の所縁となった。武田信玄の信仰も篤く、「社参状」や天文13年(1544)の「禁制札」の写しなどが残されている。本殿は梁間正面一間、背面二間(2.50m)、桁行二間(2.73m)の隅木入春日造。屋根は柿葺き。飛騨匠あるいは武田番匠の造営と伝えられるが建立時期は明確ではない。山宮神社本殿と良く似ていることから、室町時代後期の建築と推定される。

12 佐久神社本殿 附 神額1面

県指定 所有：佐久神社(石和町河内) 江戸時代

佐久神社は甲府盆地のほぼ中央部、石和町河内に位置する。本殿は総ケヤキの桁行三間(3.32m)、梁間二間(2.62m)の三間社流造で、四周に跳高欄付の切目縁を巡らす。屋根は正面に軒唐破風が付き、もとは檜皮葺きだったが、現在は銅板葺きに改められている。棟札によると文久2年(1862)に建立され、大工棟梁は下山村松木運四郎・同左内、彫刻師は江戸日本橋後藤勇次郎の名が記されている。軒唐破風の向背部から柱上の組物、脇障子、床下の組物の細部まで可能な限り彫刻を施しており、優れた意匠感覚によってまとめられている。



13 八田家書院 附 土蔵棟札1枚、永々日記1冊、家政暦年誌1冊、地相絵図面1枚、八田村古絵図1枚

県指定 所有：個人(石和町八田) 江戸時代

八田家は武田氏に仕えて蔵前衆を勤めた家柄。徳川家康から朱印状が発給されたことから「御朱印屋敷」と呼ばれた。屋敷内の建物は織田信長の兵火による焼失の後、慶長6年(1601)頃に再建された。書院は接客と応接の場で、再建時の建物では唯一現存している。桁行七間(12.75m)、梁間三間(6.37m)で南面して建ち、東側に妻入り玄関を持つ。屋根は正面入母屋造、背面寄棟造で茅葺き。当初の形態を良く保存し、数奇屋風の意匠など書院建築の特色がよく現れている。

3 慈眼寺本堂・鐘楼門・庫裏

国指定 所有：慈眼寺(一宮町末木) 江戸時代

慈眼寺は真言宗智山派に属し、戦国時代には武運長久の祈願所として武田信玄の庇護を受け伽藍が整備された。しかし、天正10年(1582)武田家滅亡の時に織田信長の兵火によって寺の建物は焼失。現存する本堂・鐘楼門・庫裏は江戸時代になって再建された。いずれも江戸時代初期の特色が良く残っている。伽藍は東面し、正面に鐘楼門、その奥に本堂、本堂の北に庫裏を配置する。3棟の建物が一体となって近世地方寺院の伽藍配置を伝えている。本堂 桁行八間半(16.35m)、梁間六間半(11.86m)。屋根は茅葺き入母屋造。内部は前後各三室の六室で構成される方丈型本堂で、正面と北側面に一間分の広縁が廻る。正面は雨戸だけの吹放ちで、開放的な造りとなっている。

鐘楼門 桁行一間(3.65m)、梁間二間(3.04m)。棟通り筋に板扉を設けた一間一戸の楼門。屋根は茅葺き入母屋造。上層に架かる梵鐘に慶安3年(1650)の刻銘があり、建築年代の根拠となっている。

庫裏 桁行八間(14.50m)、梁間六間(10.91m)。本堂北側に棟通りを直交して建てられ、本堂とは渡り廊下でつながっている。屋根は茅葺きで、正面入母屋造、背面切妻造。内部は入り口から土間・板敷の広間が続き、奥は棟通りで南北に区切り、南側を表向き、北側を内向きの部屋としている。



3-2 慈眼寺鐘楼門



3-1 慈眼寺本堂



3-3 慈眼寺庫裏

登録有形文化財

※文化財の説明は、番号、名称、指定区分、所有者等(所在地)、時代の順に記載してあります。



← 70 須田家住宅

国登録 所有：個人(石和町四日市場) 昭和2年(1927)

昭和2年(1927)に建てられた西洋式の住宅。1階の壁は下見板貼り、2階の壁は黒いモルタルの表面に凹凸をつけたドイツ壁で仕上げられている。

72 早川家住宅主屋 →

国登録 所有：個人(一宮町東新居) 昭和17年(1942)

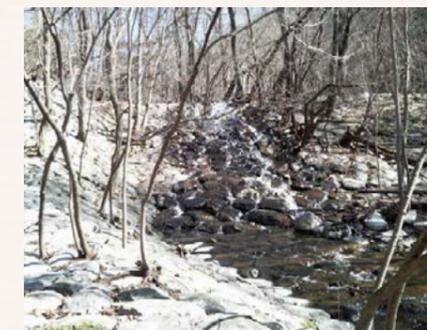
一宮町東新居出身で「地下鉄の父」と呼ばれた早川徳次(1881~1942)が、青年道場の講師宿泊所として昭和17年(1942)に建設した。



69 ルミエール地下醗酵槽

国登録 所有：個人(一宮町南野呂) 明治34年(1901)

明治34年(1901)に造られた半地下式ワイン発酵槽。花崗岩の切石積で、幅1.9m、奥行6.6m、高さ2.7mの発酵槽10基を並べ前面を地下通路でつないでいる。



71 屋敷入沢第七号石堰堤

国登録 所有：山梨県(御坂町上黒駒) 明治43年(1910)

明治40年の大水害の後、明治43年(1910)に金川の支流屋敷入沢に築かれた砂防堰堤。堤長66m、高さ6.4m。コンクリートを使わない空石積。緩勾配の堤体により河道を安定させた。



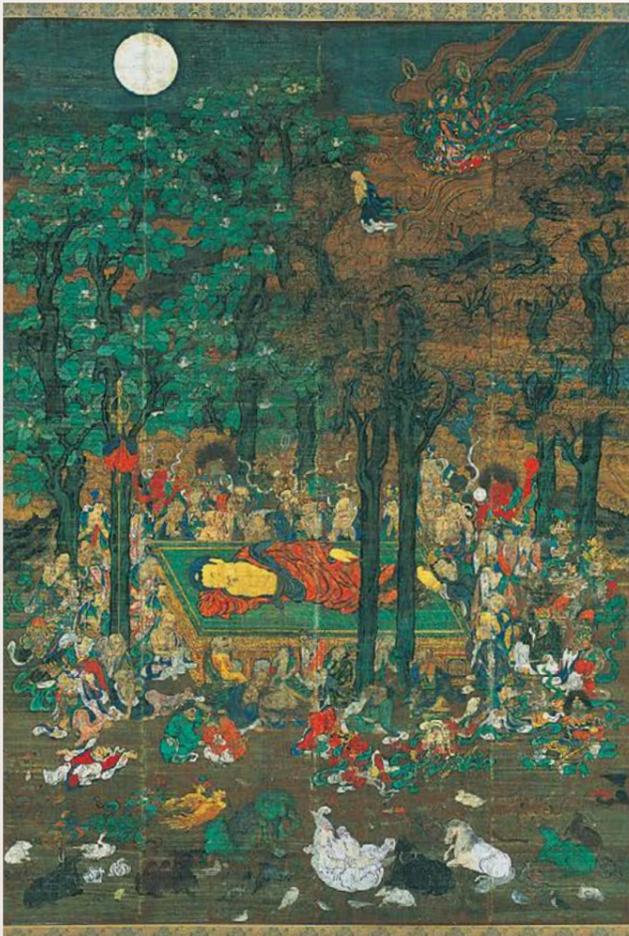
68 御坂隧道

国登録 所有：山梨県(御坂町御坂峠) 昭和6年(1931)

甲府盆地と富士五湖地方を結ぶ御坂峠を越えるため、昭和6年に造られた隧道。延長394m、幅5.5m。

絵画

※文化財の説明は、番号、名称、指定区分、所有者等(所在地)、時代の順に記載してあります。



4

4 絹本著色仏涅槃図

18 不動明王二童子像(坐像系)

20 騎獅不動明王八大童子像

4:国指定 17~20:県指定 所有:大蔵経寺(石和町松本) 室町時代

大蔵経寺は真言宗智山派で創建は不詳だが、応安3年(1370)、室町將軍足利義満が甲斐守護武田信成に命じて伽藍を再興した。

絹本著色仏涅槃図は、永享7年(1435)頃に画僧靈彩によって描かれた。縦206cm、横145.5cm。沙羅双樹に囲まれた宝台上に横たわる釈迦と弟子・人々・動物などが入滅を悲しむ様子が描かれている。釈迦の亡くなった日に行う涅槃会の法要で室内に掲げた。

大蔵経寺には他にも密教絵画が多数残されており、真言密教の文化を今に伝えている。



18



19



20



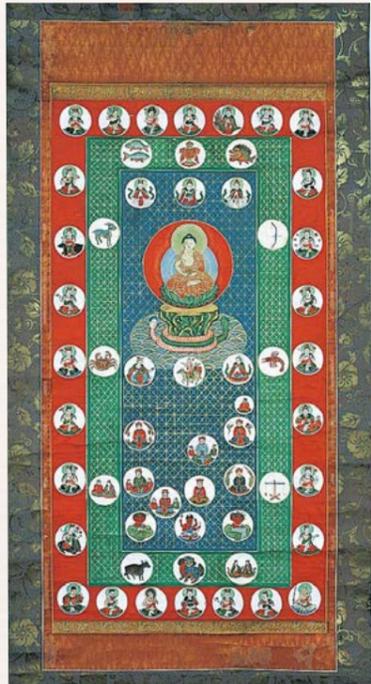
14 板絵著色三十六歌仙図

県指定 所有:美和神社(御坂町二之宮) 室町時代
永禄6年(1563)武田晴信(信玄)・義親親子によって奉納された。(写真は小野小町)



16 絹本著色熊野曼荼羅 附桐箱

県指定 所有:南北熊野神社(八代町北) 鎌倉時代
熊野三所権現と十二所権現、合わせて15体を描いている。鎌倉時代に作成。



15 紙本著色星曼荼羅

県指定 所有:慈眼寺(一宮町末木) 江戸時代
密教で行う星供養の本尊。江戸時代初めに制作された。

彫刻

※文化財の説明は、番号、名称、指定区分、所有者等(所在地)、時代の順に記載してあります。



22 木造十一面観音立像

県指定 所有:満願寺(一宮町竹原田) 平安時代

ケヤキの一木造。量感に富み、重厚な造形で平安時代前期に制作された。



21 木造香王観音立像

県指定 所有:福光園寺(御坂町大野寺) 平安時代

ケヤキの一木造。宝冠をはじめ両手先・足先を失うが、平安時代前期の特色を持つ。



27 木造如来形坐像・塑像残欠

県指定 所有:瑜伽寺(八代町永井) 平安時代

ヒノキの一木造。大日如来として信仰されてきたが、両手が後補のもの代わっているため不明。平安時代前期の堂々とした作風を持つ。



25 木造不動明王坐像

県指定 所有:熊野堂区(春日居町熊野堂) 平安時代

ヒノキの一木造。像高255cmの丈六仏。平安時代後期の制作と推定されている。



26 木造五大明王像

県指定 所有:桑戸区(春日居町桑戸) 平安時代

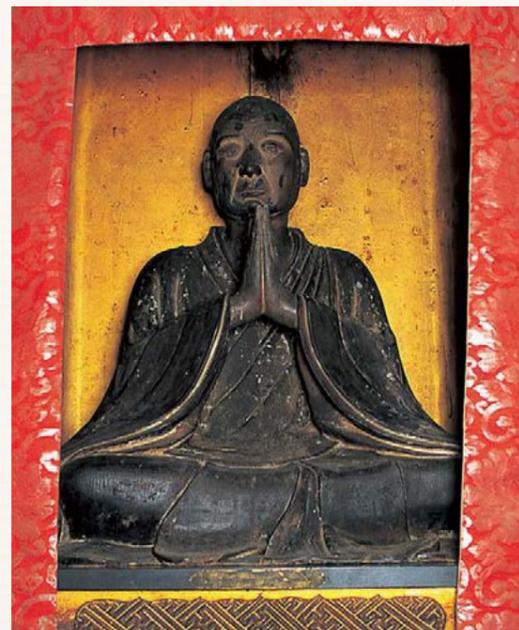
中央の不動明王と大威徳明王・軍荼利明王・降三世明王・金剛夜叉明王の5体から成る。いずれもヒノキ材で不動明王は一木割刳造、他は一木造。平安時代後期12世紀の制作と推定。



28 木造十二神将立像

県指定 所有:瑜伽寺(八代町永井) 平安時代

業師如来を守護する12体の武神像。いずれも武装形で、鎧をつけ武器を持つ。ヒノキ材で一木割刳造あるいは寄木造。平安時代後期12世紀の制作と推定。



7 木造他阿上人真教坐像

国指定 所有:称願寺(御坂町上黒駒) 鎌倉時代

時宗第二祖の真教上人の坐像。ヒノキの寄木造。真教晩年の姿を現し、特に中風とされる病にゆがむ表情を細部まで写し出している。

6 木造吉祥天及二天像

国指定 所有:福光園寺(御坂町大野寺) 鎌倉時代

中央に吉祥天(像高108.8cm)、両脇に多聞天(右118.7cm)と持国天(左116.8cm)を配する。いずれもヒノキ材の寄木造で、寛喜3年(1231)仏師蓮慶により造立された。ふくやかな顔立ち、弾力的な肩の張り、堂々とした体格には鎌倉時代前半の慶派の特徴がよく現れている。





29 木造阿弥陀如来及両脇侍像
 県指定 所有：九品寺（御坂町成田） 鎌倉時代
 阿弥陀像は鎌倉時代以降多く造られた三尺阿弥陀立像の系譜を引く。両脇侍も含めいづれもヒノキの寄木造。



24 木造虚空蔵菩薩坐像
 県指定 所有：智光寺（境川町藤壘） 鎌倉時代
 ヒノキの寄木造。像内に建長6年(1254)の墨書銘を持つ。



23 石造地藏菩薩坐像
 県指定 所有：北野呂区（一宮町北野呂） 室町時代
 安山岩製の石仏だが、流麗な納衣の表現など木彫に迫る。境内に康安2年(1362)の銘を持つ宝篋印塔があり、同時期の制作と推測される。

工芸

※文化財の説明は、番号、名称、指定区分、所有者等（所在地）、時代の順に記載してあります。



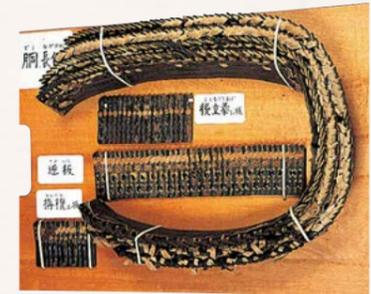
35 銅鐘
 県指定 所有：広厳院（一宮町金沢） 鎌倉時代
 嘉暦2年(1327)初狩（現大月市）妙台寺の梵鐘として鑄造された。元禄年間（1693）に広厳院境内から発掘された。



45 銅鐘
 県指定 所有：光国寺（御坂町下野原） 江戸時代
 元和5年(1619)甲府の沼上正盛らによって鑄造された。江戸時代の制作であるが、甲斐国中世の梵鐘の特徴を持つ。



41 刺繍法華経
 県指定 所有：慈眼寺（一宮町末木） 室町時代
 羅（目の粗い絹織物）の地に紺の糸で文字を刺繍し、特に「佛」の文字は金の糸で表した経典。表帙は絹地に牡丹の花を多彩な絹糸で刺繍し、見返に釈迦如来や普賢菩薩などを描いている。中国の元の時代、至正21年(1361)に制作された。



42 白糸威褸取鏡 残欠
 県指定 所有：美和神社（御坂町二之宮） 室町時代
 大鏡の残欠。小札を白色絹組紐で威し、草摺を紫・黄・紺・白・緑の組紐で威した華麗な大鏡で、室町時代前期の制作と推定される。



43 朱札紅糸素懸威 胴丸 佩楯付
 県指定 所有：美和神社（御坂町二之宮） 室町時代
 朱漆をかけた小札を紅糸で威した「赤備え」の胴丸。やや小形であるので武田信玄奉納の着初め式の鏡と伝えられている。



38 銅鏡 菱雲文帯半円方形四乳鏡
 県指定 所有：南北熊野神社（八代町北） 古墳時代
 八代町北の団栗塚古墳から明治21年(1888)に発見された。直径11.1cm。中国で作られた舶載鏡と考えられている

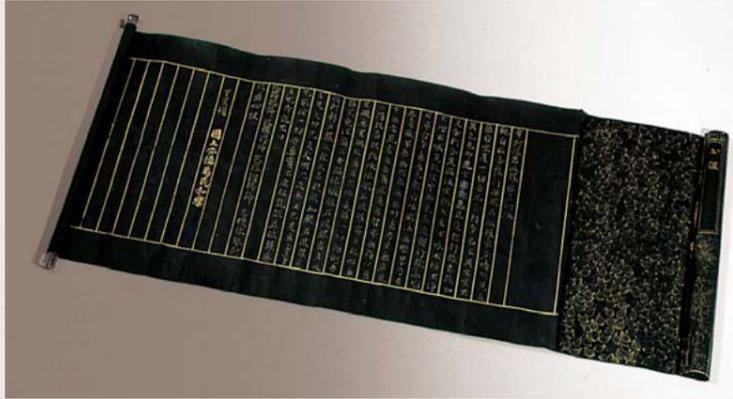


37 古常滑大甕、支那青磁碗、同染付碗、同皿、黄瀬戸皿
 県指定 所有：個人（山梨県立博物館展示） 室町時代
 昭和8年(1933)一宮町新巻で出土した。青磁碗6点、染付碗2点、染付皿10点、黄瀬戸皿20点が古常滑大甕内に納められていた。時代は15世紀後半と推定されている。



書跡

※文化財の説明は、番号、名称、指定区分、所有者等（所在地）、時代の順に記載してあります。



8 紺紙金泥般若心経 附 武田晴信自筆奉納包紙
 国指定 所有：浅間神社（一宮町一ノ宮） 室町時代
 後奈良天皇（在位1526～57）の御宸翰（天皇の直筆のこと）による。天皇は国内が戦乱に明け暮れる中、写経の功德で万民を救済しようと、みずから般若心経を写経し諸国の一宮へ奉納することを試みた。奉納の記録が残るのは24ヶ国で、現存するのは甲斐を含めて7ヶ国。天文19年(1550)武田晴信（信玄）によって浅間神社に奉納された。



34 紙本墨書梵書法帖
 県指定 所有：慈眼寺（一宮町末木） 江戸時代
 代表的な梵字を頁ごとに大書した、梵字の手本帖。江戸時代初期の梵字研究者である澄禪によって作成された。



31 版本大般若経 付 紙本墨書大般若経110巻、絹本著色十六善神画像1幅、経箱大6合、経箱小60合
 県指定 所有：実相寺（境川町大坪） 鎌倉時代
 建久3年(1192)に印刷された版本484巻・版写合本6巻と、室町時代に写経された写本110巻、合計600巻からなる。



32 広厳院文書
 県指定 所有：広厳院（一宮町金沢） 室町～江戸時代
 武田信昌から勝頼の5代にわたる文書を含め、戦国・江戸時代の支配や寺院の様子を伝える。



33 桑原家文書
 県指定 所有：個人（山梨県立博物館寄託） 室町時代
 永禄3年(1560)県内各地から漆160杯を5日間で集めるよう武田信玄から命じられた文書など。



30 超願寺文書
 県指定 所有：超願寺（一宮町塩田） 安土・桃山時代
 天正8年(1580)本願寺教如から甲斐国の坊主衆・門徒衆に送った文書。「矢文」。



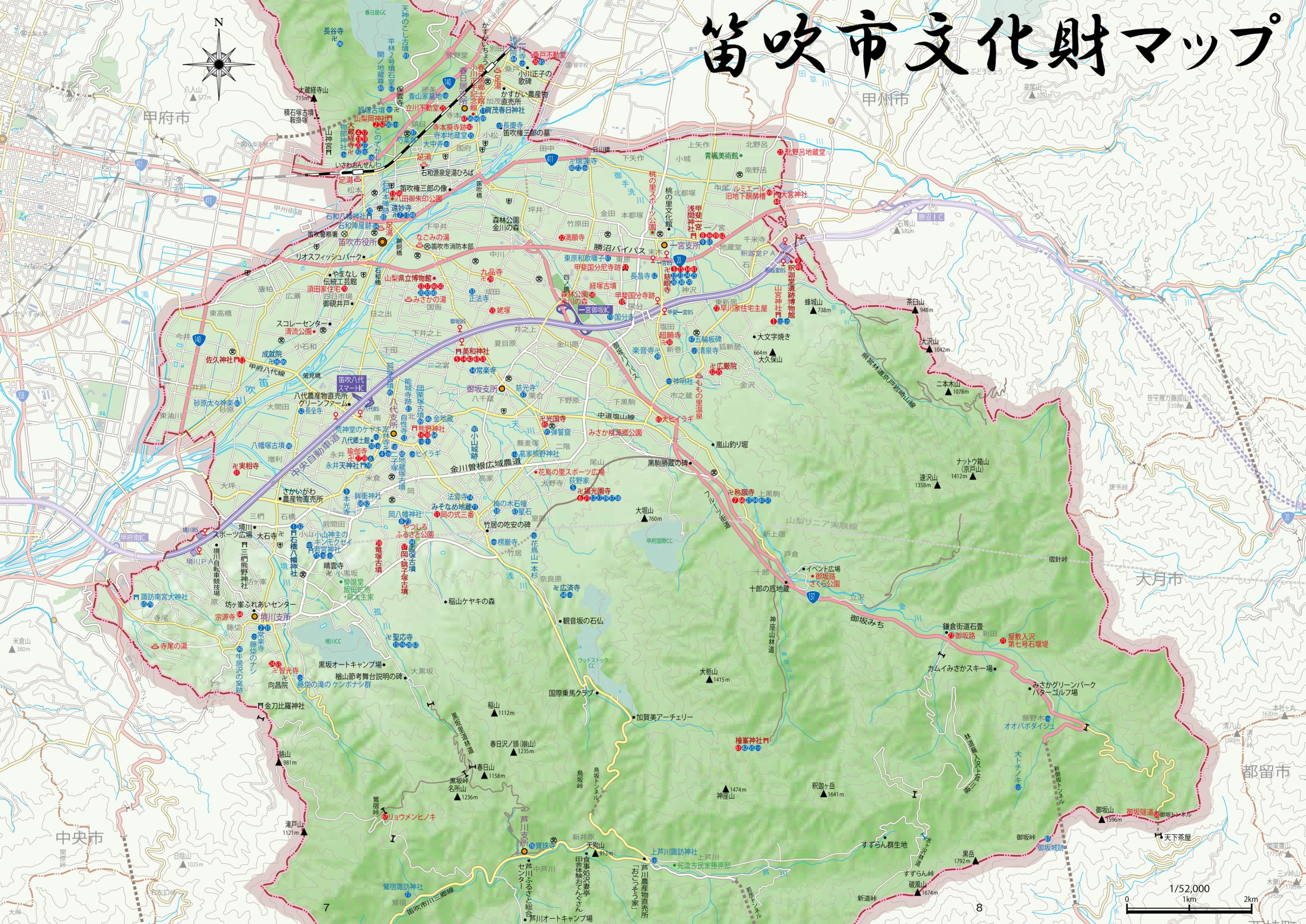
36 太刀 銘 国次（上）
 県指定 所有：浅間神社（一宮町一ノ宮） 室町時代
 美濃国関の刀工、国次によって制作される。全長104cm。武田信玄によって奉納された。
39 太刀 銘 甲陽藤原助則（下）
 県指定 所有：浅間神社（一宮町一ノ宮） 明治23年(1890)
40 太刀 銘 甲陽助則
 県指定 所有：個人（一宮町中尾） 明治22年(1889)



44 太刀 銘 因幡守廣重 附 衛府太刀拵
 県指定 所有：大宮神社（一宮町南野呂） 江戸時代
 江戸神田の刀工廣重によって作られ、寛文6年(1666)旗本三枝守俊が大宮神社に奉納した。全長70cm。

甲陽一徳齋藤原助則(1827～1909)は一宮町の中尾神社の神主を務めながら日本刀の技術を習得した。明治23年(1890)内国勸業博覧会に太刀2振、短刀2振を出品し入選。太刀2振のうち1振は浅間神社へ奉納、もう1振は自宅に残された。一徳齋の刀や薙刀は笛吹市を中心に20数振が確認されている。

笛吹市文化財マップ



7

8

考古資料

※文化財の説明は、番号、名称、指定区分、所有者等(所在地)、時代の順に記載してあります。



9 釈迦堂遺跡出土品

国指定 所有：釈迦堂遺跡博物館（一宮町千米寺）
縄文時代

←深鉢形土器(水煙文土器) (撮影：小川忠博)

↓土偶



46 桂野遺跡出土大形深鉢形土器 (渦紋深鉢)→

県指定 所有：笛吹市(山梨県立博物館展示) 縄文時代



笛吹市には今から5,500年前から4,500年前にあたる縄文時代前期末から中期末にかけての遺跡が数多くある。一宮町千米寺・石に広がる釈迦堂遺跡では255軒の住居跡が発見され、土器や石器など縄文時代の暮らしを伝える遺物が大量に出土した。中でもまつりの道具である土偶は1,116点も出土し、大地や森の豊かな恵みや子孫の繁栄を願う縄文人の思いが強く感じられる。水煙文土器はのびやかな渦巻きの曲線が器面から4つの把手となって溢れ出している。桂野遺跡から出土した渦紋深鉢も渦巻きが器面全体を覆い尽くし、縄文人の技術と芸術性の高さを感ずる。



50 古柳塚古墳出土品

県指定 所有：笛吹市(春日居郷土館展示) 古墳時代

てつせいづぼあひみ こんどうせいしんようけいかにいたつきつわ
鉄製土壺(上) 金銅製心葉形鏡板付轡(下)

八代町米倉の古柳塚古墳(消滅)から出土。装飾性の高い馬具をはじめ、銀象嵌柄頭や金環などがあり古墳時代後期に位置付けられる。

48 地藏堂塚古墳出土 蕨手刀

県指定 所有：笛吹市(山梨県立考古博物館展示) 古墳時代

大正5年(1916) 境川町小山の地藏堂塚古墳(消滅)から出土した。柄頭が早蕨の巻いた状態に似ていることから蕨手刀と呼ばれ、東北地方を中心に古墳時代後期から平安時代初期の遺跡で多く見つかっている。



47 御崎古墳出土品 (撮影：小川忠博)

県指定 所有：笛吹市(春日居郷土館展示) 古墳時代

八代町竹居の御崎古墳(消滅)から出土。薄い金銅板に毛彫りで文様を描いた飾り馬具で、7世紀末から8世紀初頭の時期に東日本で多く出土している。

49 釈迦堂遺跡出土鉄製人形一括

県指定 所有：釈迦堂遺跡博物館（一宮町千米寺）
奈良時代

一宮町釈迦堂遺跡の奈良時代の土坑から出土した。人形は一般に木で作られる祭祀用具だが、鉄を用いているのは中央の貴族文化の影響を受けているものと考えられている。



史跡

※文化財の説明は、番号、名称、指定区分、所有者等(所在地)、時代の順に記載してあります。



57 岡・銚子塚古墳

県指定 所有：笛吹市(八代町岡) 古墳時代

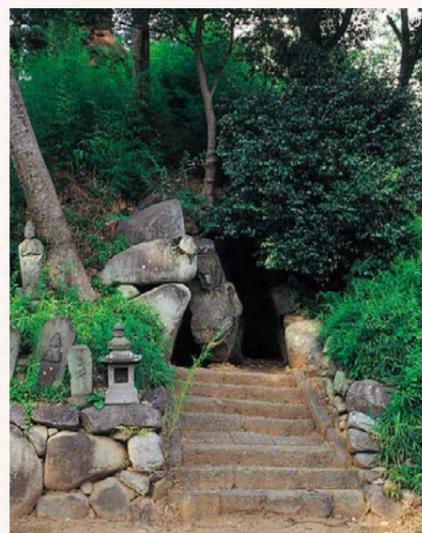
4世紀後半に造られた前方後円墳。周溝を含めた全長は105m。墳丘は全面が葺石で覆われ、円筒埴輪が並べられていた。



59 竜塚古墳

県指定 所有：笛吹市ほか(八代町米倉) 古墳時代

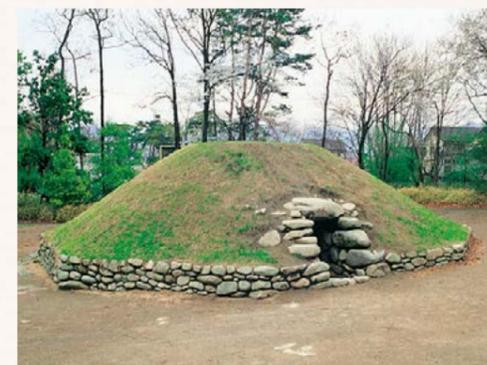
5世紀前半に造られた方墳。一辺約56m。墳丘は二段築盛で上段に葺石が葺かれていた。



55 姥塚

県指定 所有：南照院(御坂町井之上) 古墳時代

6世紀後半に造られた円墳。墳丘の直径は約40m。横穴式石室は全長17.5m以上で、東日本最大級。



58 経塚古墳

県指定 所有：山梨県(一宮町国分) 古墳時代

7世紀初めに造られた八角形古墳。墳丘径約12.5m。古墳時代終末期に中央で造られた八角形古墳の影響を見ることができる。



60 寺本廃寺跡

県指定 所有：笛吹市ほか(春日居町寺本) 飛鳥時代

7世紀後半に建てられた山梨県最古の寺院。三重塔の心礎が残されている。

甲斐国分寺跡中心部 想定復原図



10 甲斐国分寺跡 (一宮町国分)

国指定 所有：笛吹市ほか 奈良時代

天平13年(741)、聖武天皇は仏教で国家を護るために全国に国分寺と国分尼寺を建てるように命じた(国分寺建立の詔)。この詔にしたがって、日本各地で約60の国分寺が建てられた。

甲斐国分寺跡は南北約330m、東西250mの中に南門・中門・回廊・七重塔・金堂・講堂・鐘楼・経藏・僧房などの建物があった。発掘調査により中心部は全面的に石や礫が敷かれていた「石の国営寺院」であったことがわかった。

甲斐国分尼寺跡は国分寺跡の約500m北側にあり、約180m四方の中に、南門・中門・回廊・金堂・講堂・尼房などがあつたと推定されている。

←10 甲斐国分寺跡(七重塔跡)

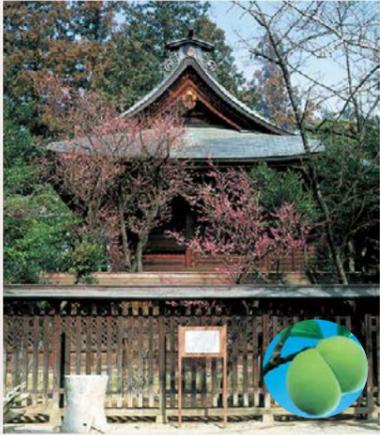


11 甲斐国分尼寺跡

(上：講堂跡・下：金堂跡)

天然記念物

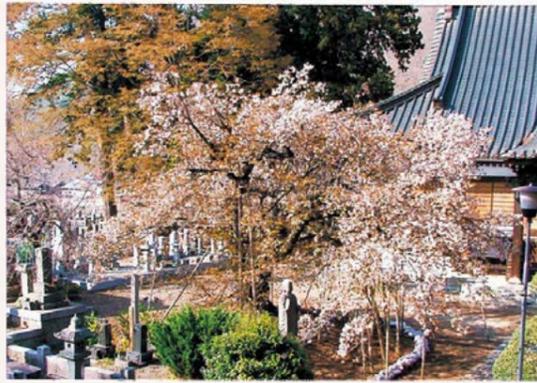
※文化財の説明は、番号、名称、指定区分、所有者等（所在地）、時代の順に記載してあります。



62 一宮浅間神社の夫婦ウメ
 県指定 所有：浅間神社（一宮町一ノ宮）
 本殿の南側、玉垣内にあり、一つの花から二つの実がなるウメ。子授けの靈験があるという。



65 下黒駒の大ヒイラギ
 県指定 所有：下黒駒区（御坂町下黒駒）
 旧鎌倉街道沿いに立つヒイラギの古木。高さ約7.5m、幹周り2.95m。



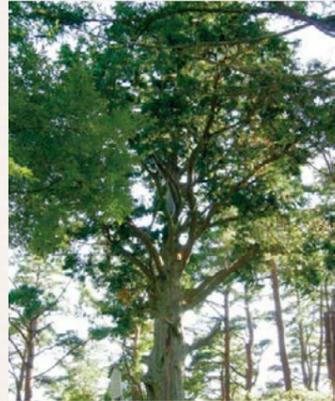
66 称願寺のサクラ
 県指定 所有：称願寺（御坂町上黒駒）
 ヤマザクラ系の園芸品種。花径は約2.5cmで八重咲き。高さ6.5m、幹周り約4.2m。



63 智光寺のカヤ
 県指定 所有：智光寺（境川町藤笠）
 智光寺の石段左手にそびえる巨木。高さ29m、幹周り4.4m。

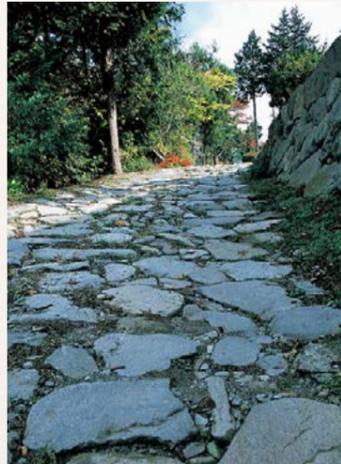


64 宗源寺のヒダリマキカヤ
 県指定 所有：宗源寺（境川町藤笠）
 通常のカヤに比べて果核が大きく、両端が尖っている。高さ21.5m、幹周り4.4m。



67 鶯宿峠のリュウメンヒノキ
 県指定 所有：山梨県（芦川町鶯宿）
 樹種が不明ということで「ナンジャモンジャ」と呼ばれてきたが、牧野富太郎博士によってヒノキの変種「リュウメンヒノキ」と命名された。高さ17m、幹周り3.45m。

歴史の道100選



73 御坂路（御坂町上黒駒ほか）
 御坂路は、奈良・平安時代に御坂峠を越えて都と甲斐国を結んだ官道（東海道甲斐路）の一部だった。鎌倉時代以降は「鎌倉街道」とも呼ばれ、中央線や中央自動車道が発達するまでは甲斐国と鎌倉や京都などを結ぶ重要な交通ルートだった。

かぶとづくりこみんかぐんあしがわ 兜造古民家群～芦川

兜造民家とは、屋根裏に光と風を取り入れるため屋根の一部を切り上げた民家。芦川町地区は、かつて養蚕が盛んで、蚕の生育環境を良くするため数多くの兜造民家が建てられた。現在でも150棟以上の兜造民家が残されている。芦川町上芦川の藤原邸は18世紀中頃に建てられた兜造民家で、平成24年に再生修理し、現在では公開活用されている。
 休館日：毎週火曜日（火曜日が祝祭日のときはその翌日）、12月29日から1月3日
 利用時間：9:00～17:00



兜造古民家 藤原邸

笛吹市内の文化施設紹介



春日居郷土館・小川正子記念館

桂野遺跡・岡銃子塚古墳・寺本廃寺跡・甲斐国分寺跡・国分寺跡などの出土品を展示し、笛吹市の歴史・文化を知ることができる。毎年夏には戦争と平和を考える「わが町の八月十五日展」を開催。笛吹市にゆかりのある偉人や芸術家の作品を紹介する企画展も開催している。併設の小川正子記念館はハンセン病患者の救済に生涯を捧げた医師小川正子を紹介する。



八代郷土館

明治18年に建てられた旧大森銀行の建物を活用し、大森銀行の資料や江戸時代からの生活用具、養蚕・稲作道具などを展示。敷地内には江戸時代中期の民家も移築してある。



青楓美術館

津田青楓の絵画を展示。津田青楓は近現代に活躍した画家・書道家・随筆家。



八田家書院

17世紀の書院を公開。春には「八田家書院でひな祭り」・「武者飾り」などを開催。



釈迦堂遺跡博物館

釈迦堂遺跡から出土した土偶・土器・石器などを展示。縄文人の暮らしや精神世界を再現。



山梨県立博物館

基本テーマは「やまなしの自然と人」。甲斐国分寺跡から出土した鬼瓦なども展示している。

無形民俗文化財



52 山梨岡神社の太々神楽
 県指定 保持団体：山梨岡神社舞子（春日居町鎮目）
 武田信玄 出陣の神楽と呼ばれ、24種の舞が伝わる。毎年4月4・5日の例大祭に奉納される。



53 二ノ宮美和神社の太々神楽 付 版木1枚 神楽二十五番次第 1枚
 県指定 保持団体：美和神社神楽保存会（御坂町二之宮）
 江戸時代、災害を封じるために始まった出雲流の神楽。2月8日の湯立神事と4月第1日曜日の例大祭に奉納される。

指定文化財一覧

国指定重要文化財

No.	名称	種別	所在地	所有者等	公開
1	浅間神社摂社山宮神社本殿附棟札4枚	建造物	一宮町一ノ宮 1705	浅間神社	○
2	山梨岡神社本殿附棟札2枚	建造物	春日居町鎮目 1696	山梨岡神社	○
3	慈眼寺本堂・鐘樓門・庫裏	建造物	一宮町末木 336	慈眼寺	○
4	絹本着色仏涅槃図	絵画	石和町松本 610	大蔵経寺	△
5	木造大物主神立像	彫刻	御坂町二之宮 1450 - 1	美和神社	×
6	木造吉祥天及二天像	彫刻	御坂町大野寺 2027	福光園寺	△

県指定文化財

No.	名称	種別	所在地	所有者等	公開
12	佐久神社本殿 附神額	建造物	石和町河内 80	佐久神社	○
13	八田家書院 附土蔵棟札・永々日記・家政歴年誌・地相絵画図・八田村古絵図	建造物	石和町八田 334	個人	○
14	板絵著色三十六歌仙図	絵画	御坂町二之宮 1450	美和神社	△
15	紙本着色星曼荼羅	絵画	一宮町末木 336	慈眼寺	×
16	絹本着色熊野曼荼羅 附桐箱	絵画	八代町北 1615	南北熊野神社	△ 県博
17	絹本着色両頭愛染明王像	絵画	石和町松本 610	大蔵経寺	△
18	絹本着色不動明王二童子像(坐像系)	絵画			
19	絹本着色不動明王二童子像(立像系)	絵画			
20	絹本着色騎獅不動明王八大童子像	絵画			
21	木造香王観音立像	彫刻	御坂町大野寺 2019 - 2	福光園寺	△
22	木造十一面観音立像	彫刻	一宮町竹原田 1263	満願寺	△
23	石造地藏菩薩坐像	彫刻	一宮町北野呂 176	北野呂区	△
24	木造虚空蔵菩薩坐像	彫刻	境川町藤堂 322	智光寺	△
25	木造不動明王坐像	彫刻	春日居町熊野堂 135 - 1	熊野堂下区	△
26	木造五大明王像	彫刻	春日居町桑戸 175 - 1	桑戸区	△
27	木造如来形坐像・雙像残欠	彫刻	八代町永井 1543	瑜伽寺	△
28	木造十二神将立像	彫刻	八代町永井 1543	瑜伽寺	△
29	木造阿弥陀如来及両脇侍像	彫刻	御坂町成田 733	九品寺	△
30	超願寺文書	書跡	一宮町塩田 818	超願寺	×
31	版本大般若経 付紙本墨書大般若経 110巻、絹本着色十六善神画像1幅、経箱大6合、小60合	書跡	境川町大坪 505	実相寺	×
32	広蔵院文書	書跡	一宮町金沢 227	広蔵院	×
33	桑原家文書	書跡	境川町寺尾 3147	個人	△ 県博
34	紙本墨書梵書法帖	書跡	一宮町末木 336	慈眼寺	×
35	銅鐘	工芸	一宮町金沢 227	広蔵院	△
36	太刀銘国次	工芸	一宮町一ノ宮 1684	浅間神社	×
37	古常滑大甕・支那青磁碗、同染付碗、同皿、黄瀬戸皿	工芸	一宮町荒巻本村	個人・山梨県立博物館で公開中	○ 県博
38	銅鐘(菱雲文帯半円方形四乳鏡)	工芸	八代町北 1615	南北熊野神社	×

登録有形文化財

No.	名称	所在地	所有者等	公開
68	御坂隧道	御坂町・富士河口湖町両町の境	山梨県	○
69	ルミエール旧地下発酵槽	一宮町南野呂 624	株式会社ルミエール	△
70	須田家住宅	石和町四日市場 1563	個人	×
71	屋敷入沢第七号石堰堤	御坂町上黒駒字屋敷入	山梨県	○

市指定文化財

No.	名称	種別	所在地	所有者等	公開
1	石橋八幡神社本殿	建造物	境川町石橋 2096	八幡神社	○
2	常楽寺の五輪塔	建造物	境川町藤堂 2446	常楽寺	○
3	本光寺山門	建造物	八代町米倉 872	本光寺	○
4	定林寺山門	建造物	八代町南 747	定林寺	○
5	荻野家	建造物	御坂町大野寺 1474	個人	×
6	薬師堂 附木造薬師如来坐像	建造物	八代町永井 1543	瑜伽寺	○
7	普賢願生福荷堂本殿	建造物	石和町市部 1023	遠妙寺	△
8	岡八幡神社の石造明神鳥居	建造物	八代町岡 1250	八幡神社	○
9	浅間神社拝殿 附旧材1枚	建造物	一宮町一ノ宮 1684	浅間神社	○
10	江戸中期民家	建造物	八代町南 796	笛吹市	○
11	賀茂春日神社本殿	建造物	春日居町加茂 319	賀茂春日社	○
12	福光園寺鐘樓門	建造物	御坂町大野寺 2019 - 2	福光園寺	○
13	仁王門及び総門	建造物	石和町市部 1016	遠妙寺	○

No.	名称	種別	所在地	所有者等	公開
7	木造他阿上人真教坐像	彫刻	御坂町上黒駒 2969	称願寺	△
8	紺紙金泥般若心経 付武田晴信自筆奉納包紙	書跡	一宮町一ノ宮 1684	浅間神社	×
9	釈迦堂遺跡出土品	考古資料	一宮町千米寺 764	釈迦堂遺跡博物館組合	○
10	甲斐国分寺跡	史跡	一宮町国分	笛吹市 他	○
11	甲斐国分尼寺跡	史跡	一宮町東原	笛吹市 他	○

No.	名称	種別	所在地	所有者等	公開
39	太刀銘甲陽藤原助則	工芸	一宮町一ノ宮 1684	浅間神社	×
40	太刀銘甲陽助則	工芸	一宮町中尾 1331	個人	×
41	刺繍法華経	工芸	一宮町末木 336	慈眼寺	×
42	白糸威樓取鑑(残欠)	工芸	御坂町二之宮 1450	美和神社	×
43	朱札紅糸素懸成胸丸佩楯付	工芸	御坂町二之宮 1450	美和神社	×
44	太刀銘因幡守廣重 附衛府太刀拵	工芸	一宮町南野呂 621	大宮神社	×
45	銅鐘	工芸	御坂町下野原 1251	光国寺	○
46	桂野遺跡出土大形深鉢形土器	考古資料	春日居町寺本 170-1	笛吹市	○ 県博
47	御崎古墳出土品	考古資料	春日居町寺本 170-1	笛吹市	○ 春日居
48	地藏塚古墳出土蕨手刀	考古資料	春日居町寺本 170-1	笛吹市	○ 考古博
49	鉄製人形一括	考古資料	一宮町千米寺 764	釈迦堂遺跡博物館組合	○
50	古柳塚古墳出土品	考古資料	春日居町寺本 170-1	笛吹市	○ 春日居
51	岡の式三番	無形民俗	笛吹市八代町岡	岡式三番保存会	×
52	山梨岡神社の太々神楽	無形民俗	春日居町鎮目 1696	山梨岡神社舞子	△
53	二ノ宮美和神社の太々神楽 付版木1枚、神楽二十五番次第1枚	無形民俗	御坂町二之宮 1450	美和神社神楽保存会	△
54	田下駄	有形民俗	芦川町鶯宿 678	個人	×
55	姥塚	史跡	御坂町井之上 941	南照院	△
56	八田家御朱印屋敷	史跡	石和町八田 334	個人	○
57	岡・銚子塚古墳	史跡	八代町岡 2286 他	笛吹市	○
58	経塚古墳	史跡	一宮町国分	山梨県	○
59	竜塚古墳	史跡	八代町米倉 2086 - 51 他 16 筆	笛吹市 他	○
60	寺本廃寺跡	史跡	春日居町寺本 256 他	笛吹市 他	○
61	檜峰神社のコノハズク生息地	天然記念物	御坂町、檜峰神社	檜峰神社	×
62	一宮浅間神社の夫婦ウメ	天然記念物	一宮町一ノ宮 1684	浅間神社	○
63	智光寺のカヤ	天然記念物	境川町藤堂 322	智光寺	○
64	宗源寺のヒダリマキカヤ	天然記念物	境川町藤堂 4771	宗源寺	○
65	下黒駒の大ヒイラギ	天然記念物	御坂町下黒駒、秋葉神社	御坂町下黒駒区	○
66	称願寺のサクラ	天然記念物	御坂町上黒駒 2964	称願寺	○
67	鶯宿峠のリュウメンヒノキ	天然記念物	芦川町鶯宿峠	山梨県	○

No.	名称	所在地	所有者等	公開
72	早川家住宅主屋	一宮町東新居 1356	個人	×

歴史の道100選

No.	名称	所有者等	公開
73	御坂路	御坂町	○

No.	名称	種別	所在地	所有者等	公開
14	小山城主穴山伊予守信永及び一族郎党に関する歴史資料(五輪塔及び位牌)	建造物	御坂町二之宮 513	常楽寺	○
15	聖応寺仏殿・開山堂 附仏殿建立日記・仏殿建立萬請拂決算目録・仏殿棟架記	建造物	境川町大黒坂 1090	聖応寺	○
16	聖応寺反橋 附棟札1枚	建造物	境川町大黒坂 1090	聖応寺	○
17	灯籠	建造物	御坂町大野寺 2019 - 2	福光園寺	○
18	梅の木石幢	建造物	八代町竹居 2056	笛吹市	○
19	国分寺本堂・薬師堂・鐘樓門・庫裏附棟札・鯛口・小屋貴・板絵	建造物	一宮町国分 196 - 1	国分寺	○
20	諏訪南宮神社の扉絵	絵画	境川町寺尾 4023	諏訪南宮神社	△ 県博
21	版彩当麻曼荼羅	絵画	御坂町上黒駒 2964	称願寺	×

No.	名称	種別	所在地	所有者等	公開
22	金胎両面曼荼羅	絵画	一宮町末木 336	慈眼寺	×
23	種子十三仏	絵画	一宮町末木 336	慈眼寺	×
24	大日如来坐像	絵画	一宮町末木 336	慈眼寺	×
25	金剛夜叉明王像	絵画	一宮町末木 336	慈眼寺	×
26	弘法大師像	絵画	一宮町末木 336	慈眼寺	×
27	大蔵経寺絵画	絵画	石和町松本 610	大蔵経寺	△
28	絹本着色仏涅槃図	絵画	境川町大黒坂 1090	聖応寺	×
29	涅槃図	絵画	御坂町大野寺 2019 - 2	福光園寺	×

No.	名称	種別	所在地	所有者等	公開
30	聖観音像	彫刻	御坂町成田 1501 - 1	安楽寺	△ 県博
31	木造十一面観世音立像	彫刻	境川町藤堂 2446	常楽寺	△
32	石橋八幡神社左大臣・右大臣像	彫刻	境川町石橋 2096	八幡神社	○
33	木造不動明王立像	彫刻	御坂町成田 678	正法寺	△
34	木造地藏菩薩立像	彫刻	御坂町上黒駒 2964	称願寺	△
35	木造地藏菩薩立像	彫刻	春日居町寺本 222 - 6	春日居町寺本区	△
36	間魔王像及び十王像	彫刻	石和町小石和 372	成就院	△
37	延命地藏菩薩像	彫刻	御坂町桑合 146	慈光寺	△
38	石造光明真言碑	彫刻	一宮町末木 336	慈眼寺	○
39	木造金剛力士像	彫刻	一宮町塩田 944	楽音寺	○
40	仏足石	彫刻	一宮町田中 408	瑞蓮寺	○
41	小澤一仙の竜の彫刻	彫刻	御坂町上黒駒 2964	称願寺	△
42	小澤一仙の竜の彫刻	彫刻	御坂町上黒駒 檜峰神社	檜峰神社	△

No.	名称	種別	所在地	所有者等	公開
43	星石	彫刻	御坂町竹居 3277	御坂町竹居区室部組	○
44	木造十一面観世音菩薩立像	彫刻	春日居町桑戸 513	地藏院	△
45	塑像不動明王坐像	彫刻	春日居町桑戸 175 - 1	春日居町桑戸区	△
46	金地蔵の石造馬頭観世音立像 附石仏群	彫刻	八代町北 1464	笛吹市	○
47	五輪板碑	彫刻	一宮町新巻 473	個人	○
48	仁王像(阿吽2体)	彫刻	石和町市部 1016	遠妙寺	○
49	木造地藏菩薩像(関ノ地藏尊)	彫刻	春日居町鎮目字日向地内	個人	△
50	キの神	彫刻	春日居町鎮目 1696	山梨岡神社	×
51	厨子	工芸	御坂町上黒駒 2964	称願寺	×
52	懸仏	工芸	八代町大間田 146	長全寺	×
53	懸仏	工芸	八代町南 931	自性寺	×
54	懸仏	工芸	八代町奈良原 865	広濟寺	×
55	甲陽一徳寺藤原助則権刀	工芸	御坂町上黒駒	檜峰神社	×

No.	名称	種別	所在地	所有者等	公開
56	半鳳頭環太刀柄頭	工芸	春日居町寺本 170 - 1	個人	○ 春日居
57	福光園寺鐘	工芸	御坂町大野寺 2019 - 2	福光園寺	△
58	日月輪像(鏡)	工芸	御坂町大野寺 2019 - 2	福光園寺	△
59	七条袈裟	工芸	一宮町末木 336	慈眼寺	×
60	三們熊野神社武田信縄の禁制	書跡	境川町三們 932	三們熊野神社	△ 県博
61	武田信玄公和歌短冊	書跡	一宮町一ノ宮 1684	浅間神社	×
62	大般若経写本	典籍	一宮町末木 112	長昌寺	×
63	聖応寺文書	古文書	境川町大黒坂 1090	聖応寺	×
64	熊野神社篇簡「長寛勘文」書写本	古文書	八代町北 1615	南北熊野神社	×
65	武田信玄祈願状	古文書	境川町寺尾 4023	諏訪南宮神社	×
66	硬玉大珠	考古資料	春日居町寺本 170 - 1	笛吹市	○ 春日居

No.	名称	種別	所在地	所有者等	公開
67	平林2号墳石室石材	考古資料	春日居町鎮目字平林地内	山梨県	○
68	米倉の人形芝居用具	有形民俗	八代町米倉 782	八代町米倉区	△
69	付木製造道具一式	有形民俗	春日居町寺本 170 - 1	個人	○ 春日居
70	絵馬	有形民俗	石和町市部 1093	八幡神社	△
71	みそめ地蔵	有形民俗	八代町高家 2	高家区上組	△
72	瑞蓮寺石臼参道 附供養塔	有形民俗	一宮町田中 408	瑞蓮寺	○
73	岡八幡神社の石造庚申神殿	有形民俗	八代町岡 1250	八幡神社	○
74	法雲寺の臺影神像及び厨子	有形民俗	八代町高家 33 - 1	法雲寺	△
75	花火打ち上げ大筒	有形民俗	境川町小山 1027	若宮神社	△
76	宿薦山寶珠寺桃林園百番観世音菩薩並びに観音堂等霊場	有形民俗	芦川町中芦川字村中 61	寶珠寺	○
77	式三番人形カシラ	有形民俗	芦川町鶯宿 71	諏訪神社	×
78	永井天神社の神楽	無形民俗	八代町永井 1536	永井天神社神楽保存会	△
79	寺尾太々神楽	無形民俗	境川町寺尾	寺尾神楽師会	△
80	砂原太々神楽	無形民俗	石和町砂原	砂原太々神楽保存会	×

No.	名称	種別	所在地	所有者等	公開
81	東原和歌囃子	無形民俗	一宮町東原	東原和歌囃子保存会	△

